

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第6報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：12月22日 10:30~13:30（検鏡 12:50~13:30）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（渥美一秀，三浦政浩，渥美政雄）

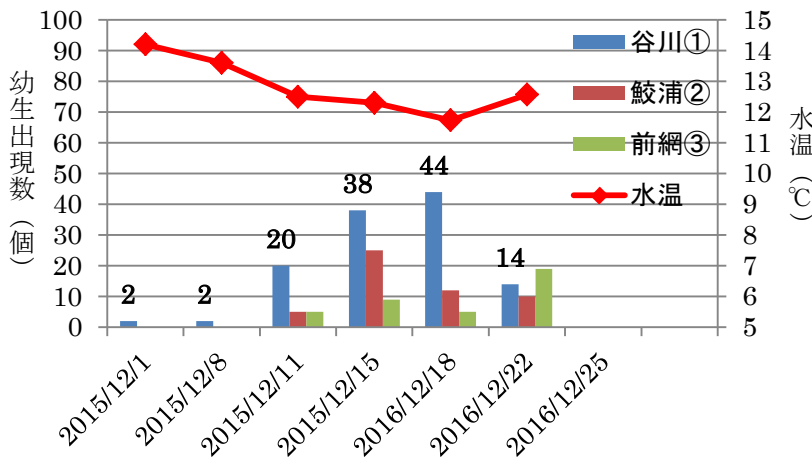
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は12.5~12.6℃と前回より上昇しました。
2. マボヤ幼生の出現状況は、幼生・胚合わせて10~19個と前回より減少しました。
3. また、マボヤ以外のホヤと思われる幼生が5~13個見られました。
4. ホヤに詳しい佐々木 良氏を招いて、ホヤ幼生判別の勉強会を開催しました。

調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	12.5	20	6	8	14	その他ホヤ幼生13
2 鮫浦	12.6	14	3	7	10	その他ホヤ幼生6
3 前網	12.6	10	4	15	19	その他ホヤ幼生5

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆ホヤ浮遊幼生出現状況について



① 調査風景



② 検鏡風景



③ 勉強会の様子

